

水守さんからのおたより

※このコーナーでは、水守さんの活動報告や日頃の思いなどを掲載します。

3月に子ども2人が登録し、親子3人で水守となった、江津湖水守・西村美和子さんに、水についての思いや水守としての抱負などを綴っていただきました。

親子で水守になって 江津湖水守・西村美和子

暖かく春の光に包まれて私達親子は、くまもと「水守」として新たな一步を踏み出しました。2年前母親の私が「江津湖水守」になったのがきっかけで、家族で江津湖に行くようになりました。それまでは水には興味もなく、市政だよりに「水」検定のお知らせが載っていたのを見て「チャレンジしてみようかな」と思ったのが水へ興味を持ったきっかけでした。「水」検定3級と2級に合格するまでの私は、水に関する知識もなく毎日の勉強が悪戦苦闘でした。一生懸命がんばったのに、あと一問だったのに2級に不合格した時はトイレの中で泣いてしまいました。それからあきらめずに合格することを信じて、ようやく2級の合格認定を手にすることができました。水守の活動には参加させていただき、時々子供達も参加していました。熊本の水が日本一の地下水都市であることや、テキストに書かれてあることを知らず知らずに子供達が覚えていたことにうれしくなりました。今年3月新幹線開業に向けて、娘の友里と息子の仁志が「九州新幹線さくら&江津湖水守」の呼称で、くまもと「水守」に登録させて頂きました。子供達も自分が水守であることを自覚し、水を大切に使うようになりました。「エコ」「節水」「水守」子供達は言葉に出して自ら節水に心がけています。その姿に私達大人が反省させられました。これから親子で県外から熊本へ来られる観光客の方々へ熊本の水をPRできたらと思います。一人でも多くの方々へ熊本の水の素晴らしさや、加藤清正はじめ先人の努力により熊本の地下水システムが成り立っていること、阿蘇の自然のシステムなどを知ってもらいたいと思います。今年は「水」検定1級にも合格したいです。今は時間があればボロボロになったテキストを開き丸暗記、すべての文章を頭の中に叩き込む、面白くてたまらない、私の大好きな時間。「将来は、水に関わる仕事がしたい」私の心に芽生えた夢。負けず嫌いで、興味あるものには考える前に体が勝手に動いている。O型のせいかな失敗しても立ち直りが早く次のステップに全力でがんばる。水守の方々と出会えたこと、生まれ育った熊本の水を学び、子供達と水守活動ができること、私にとってとっても幸せなことであり、貴重な体験です。桜の花咲く4月江津湖へ行きました。水守バッチが3つ優しい太陽の光と共に輝いて見えました。恵まれた環境の中、親子で水守活動ができること、ありがたく思っております。



江津湖にて

左から、美和子さん／友里さん(15歳)／仁志さん(12歳)



くまもと「水」検定2級合格!!

Ⅱ 八景水谷公園散策

活動発表をしていただいたガイド水守・北川さんの案内で、水量が豊富だった昔を懐かしがりながら公園内を散策しました。つい1週間ほど前までは厳しい寒さの熊本市内でしたが、当日は好天に恵まれ熊本地方の最高気温は15.3℃と気温も高く散策日和となりました。

通常の公園内の散歩コースとは違う茂みの中も散策し、毎週公園内を散歩している北川さんならではの思いや、昔話に花が咲きました。



Ⅲ 水道記念館見学

八景水谷公園の南側に位置する「熊本市水道記念館(旧八景水谷貯水池ポンプ場)」は、国の登録有形文化財に登録されており、大正13年(1924)の上水道創設から昭和42年(1967)3月までの43年間、八景水谷水源から立田山配水池へ送水するためのポンプ室として使用されていました。中に展示してあるポンプは、大正13年(1924)の上水道創設から43年間使用されたものだそうです。八景水谷送水場内にあるため、施設の安全確保の面から常時開放されておりませんが、財団法人水道サービス公社にご協力いただき、見学をさせていただきました。この水道記念館見学を一番の目的として参加された方も多かったのではないのでしょうか。



※交流会(茶話会)

閉会后、お茶菓子や水守さんからの差し入れを食べながら、ざくばらんな雰囲気で行いました。さまざまな分野で活動されている皆さんですが「熊本の水」という一つのテーマのもとに集まり、短い時間ではありましたが、各水守さんの活動や近況報告などを聞くことができ楽しい時間を過ごしました。

